

# 母屋胴縁加工図を簡略作図する際、ボルトの絵を大きくしたい！ 使用する用紙ファイルの編集で可能です。

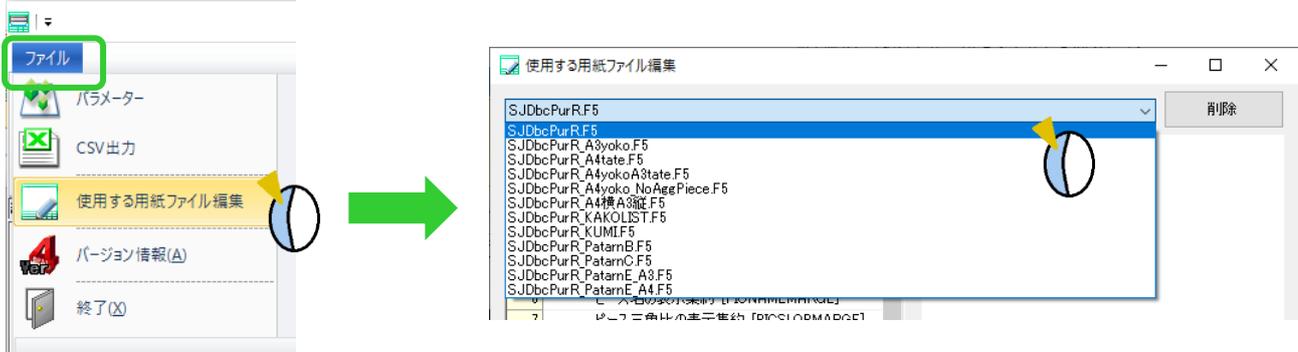
今回は、胴縁加工図の用紙ファイルを編集します。

【加工図・型紙・帳票】 - 【母屋胴縁加工図】 をクリックします。



【ファイル】 - 【使用する用紙ファイルの編集】 を選択します。

使用する用紙ファイル編集画面が起動します。一番上のプルダウンより編集する用紙ファイルを選択します。



【簡略作図】 - 【36.ボルト図サイズ】 を変更します。

【簡略作図】		
31	作図長さモード [DefoLengthMode]	1 - 自動 [1 - 自動][2 - 自動2]の場合は[作図長さ]の値を元に部材長さによって可変します
32	作図長さ [DefoW]	190
33	最小作図長さ [DefoWmin]	0 作図長さモードが[2 - 自動2]の場合に有効です。 0=自動(作図長さの1/4)
34	作図縦幅モード [DefoHeightMode]	1 - 自動 [1 - 自動]の場合は[作図縦幅]の[基本値Web]の値を元に自動計算します
35	作図縦幅 [DefoH]	10/6/0 [基本値Web]/[基本値Fle]/[PL.FB] (例外)X/0/0 X値を基準にして比率で作図します
36	ボルト図サイズ [DefoBoltSize]	2 値を大きくした場合、ボルト図どうしが重なる場合があります。
37	部材振厚 [DefoZ]	0.5/0.5/2 [基本値WT]/[基本値FT]/[基本値リップサイズ] 値を大きくした場合、重なったり見栄えが悪くなります。
38	部材図と断面図の間隔 [KakoBuzaiSpaceSec]	15 加工図の簡略作図時のみ有効



【36.ボルト図サイズ】を1から2へ変更した場合、半径2で作図していたものは半径4で作図されます。  
作図したボルトの絵の中心位置は変わらないため、作図を大きくするとボルト図が重なる場合があります。

別名で登録をクリックし、ファイル名を入力してOKをクリックして保存します。

胴縁加工図を出力する際に、新しく登録したファイルを選択して出力を行ってください。

